

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90234	西洋芸術批評史研究 A	2 単位 後期	1・2	講義	尾形 希和子

■テーマ

動物図像についての考察を通して図像解釈学の方法に触れる。

■授業概要

イタリア・ロマネスク美術の『動物誌』

ロマネスクの聖堂の内外には、聖書のエピソードやキリスト教の教義に基づく図像に混じって多くの世俗的図像が施され、聖と俗が分ちがたく渾然一体となっている。植物や動物、怪物などの図像は概して「単なる装飾」とみ込まれてきた。しかし中でも「動物」の図像は、呪術的世界の残滓であると同時に、古代の著述や『フィシオログス』のような動物寓意譚に依拠するキリスト教的な象徴、寓意としても用いられている。本授業では、主にイタリアのロマネスク聖堂に描かれた動物たちの図像の役割と意味を、時に日本や西洋以外の文化と比較しつつ考察していきたい。

受講生は動物に関するテーマを選び、研究発表を行う。

■到達目標

図像解釈研究の方法について理解し、その方法を自身の研究や制作の中で利用できるようにする。

■授業計画・方法

- 1) ロマネスクの時空について
- 2) 『フィシオログス』『動物誌』について
- 3) 図像解釈研究の方法について
- 4) 動物と人間の境界について (アガンベン、デリダ)
- 5) 「時」の表象と動物
- 6) オケアノスの図像について (地中海の豊穡)
- 7) セイレーン、トリトーン、スキュラについて
- 8) 魚、イルカについて
- 9) ワニとヒュドラについて
- 10) ドラゴン・蛇、蝮について
- 11) 鯨、レヴィアタン、ケートスについて
- 12) マングースとコブラ、カワウソについて
- 13) 研究発表
- 14) 研究発表
- 15) 総括

定期試験は行わない

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

授業内で研究発表を行い、その内容をレポートに纏めて期末に提出する。

■成績評価の方法

授業内での発表(30%)、期末レポート (30%)、通常の授業に積極的に参加しているか (30%) を総合的に評価する。芸術文化科学研究科 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (作品) 等

□参考文献

尾形希和子『教会の怪物たち』講談社、2013年

その他の参考文献は授業の中で紹介する。随時プリントを配付する。